

報道関係各位

2025年12月15日 | 株式会社エディオン

＜47都道府県のリフォーム経験者4,700人に、過去5年間のリフォーム実態を一斉調査＞  
今年やったリフォームから2025年を振り返り、来年やりたいリフォームで2026年を占う！

# エディオン「第1回 全国リフォームトレンド調査」

2025年のキーワードは、家計×異常気象×健康×犯罪から家と家族を守る「まもリフォーム」

キッチン男子急増中！？来年やりたいリフォーム1位は夫婦ともに「キッチンまわり」

リフォームの目的 節約1位は島根県・岡山県・熊本県、快適性1位は岡山県

全国で約1,200店の家電量販店を運営する家電とリフォームのエディオンは、直近5年間でリフォーム経験がある全国4,700人を対象にリフォームに関する調査を行い、「第1回 全国リフォームトレンド調査」として発表します。

## 今年やったリフォーム・来年やりたいリフォーム

2025年 リフォーム実績TOP5			2026年 やりたいリフォームTOP5		
1位	トイレ	40.5	1位	キッチンまわり	25.6
2位	外壁の張り替え・塗装	29.5	2位	壁紙・クロスの張り替え	21.2
3位	キッチンまわり	29.2	3位	ユニットバスまわり	20.0
4位	ユニットバスまわり	24.3	4位	外壁の張り替え・塗装	19.7
5位	洗面所	21.9	5位	サッシ・窓の交換	17.4
2025年にリフォームした人 (n=1,165) (%)			2026年にリフォームしたい人 (n=2,335) (%)		

## 2025年のリフォームキーワード

家計×異常気象×健康×犯罪から  
暮らしを守る・家族を守る

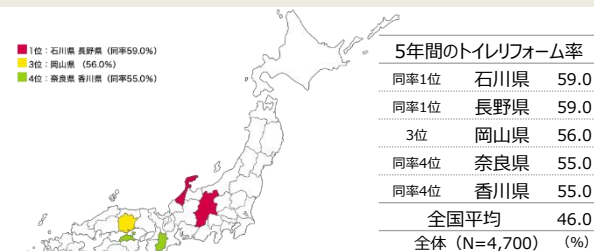
まもリフォーム

## 2026年のリフォームキーワード

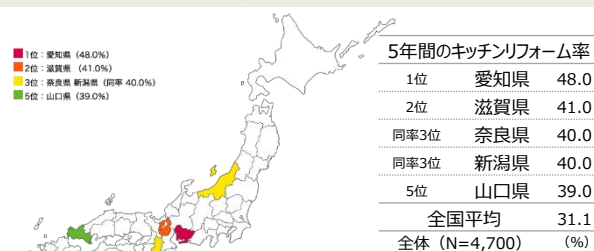
か 家計  
き & 気候変動  
く クロス  
け 健康  
こ 効率

## リフォーム全国ランキング

### トイレのリフォーム率が高い県



### キッチンまわりのリフォーム率が高い県



### 直近5年間のリフォーム理由 都道府県ランキングTOP3

節電・省エネにより 光熱費を抑えるため			暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を高めるため		
同率 1位	島根県	21.0	1位	岡山県	29.0
	岡山県	21.0	同率	山形県	26.0
	熊本県	21.0	2位	長野県	26.0
	全体 (N=4,700)	(%)		全体 (N=4,700)	(%)

# エディオン「第1回 全国リフォームトレンド調査」の概要

## 2025年のリフォーム実績とこれまでの推移から読み解く「まもリフォーム」

3-4p

- 2025年にリフォームした場所 1位「トイレ」 2位「外壁の張り替え・塗装」 3位「キッチンまわり」。
- リフォーム理由は「住まいの快適性を高める」「光熱費を抑える」「健康を意識した住まい」「耐震性・安全性・防犯性を高める」が「設備が古くなったり故障したため」に次いで高く、住まいを守る、家計を守る、家族を守る、犯罪から守る、そんな「まもリフォーム」が2025年のキーワードに。

## 2026年リフォームトレンド「か」「き」「く」「け」「こ」

5-9p

- か** ■ 2026年にリフォームしたい理由、「節電・省エネにより光熱費を抑えるため」は変わらず上位で（か）家計を意識。
- ポイントリフォーム費用も家計にやさしく！平均費用が直近5年間272.7万円→25年165.2万円→26年予算144.7万円。
- き** ■ 2026年にリフォームしたい場所「（き）キッチンまわり」が1位に。夫のリフォーム意向も高く、キッチン男子増加中。
- 「暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため」にリフォームする人が増加。（き）気候変動がリフォーム要因に。
- く** ■ これまで6位が定位置だった「壁紙・（く）クロスの張り替え」が、2026年にリフォームしたい場所として2位へ急浮上。
- け** ■ 2026年のリフォーム理由で注目すべきは「（け）健康を意識した住まいにしたいから」が、前年の4位から3位に上昇。
- リフォーム理由として「耐震性・安全性・防犯性を高めるため」も微増、住まいの健康も欠かせないポイントに。
- こ** ■ リフォームトレンドで注目すべき「家事の（こ）効率・タイムパフォーマンスを高めるため」が10位から8位に急上昇。ついにリフォームもタイパを考えて行っ時代！

## 2026年リフォームしたい場所、リフォームしたい理由

5-6p

- 2026年にリフォームしたい場所1位「キッチンまわり」（25.6%）、2位「壁紙・クロスの張り替え」（21.2%）。
- 上昇中のリフォーム理由から2026年のリフォームトレンドを読み取ると、4位→3位「健康を意識した住まいにしたいから」、10位→8位「家事の効率・タイパを高めるため」。健康とタイパのためのリフォームが注目されそう。
- 有配偶者がリフォームしたい場所は男女とも「キッチンまわり」が1位。男性育休や共働きも当たり前の令和社會の新ルールに。

## リフォーム全国ランキング

10-14p

- リフォーム実践率TOP3 トイレ「石川県」「長野県」「岡山県」。キッチンまわり「愛知県」「滋賀県」「奈良県」「新潟県」。
- リフォーム理由TOP3 住まいの快適性「岡山県」「山形県」「長野県」。光熱費抑制「島根県」「岡山県」「熊本県」。
- 健康意識「新潟県」「富山県」「奈良県」。耐震性・安全性・防犯性向上「福井県」「群馬県」「富山県」「石川県」「大阪府」。
- 2026年にリフォームしたい場所TOP3 キッチンまわり「和歌山県」「大分県」「愛媛県」。壁紙・クロスの張り替え「福岡県」「奈良県」「千葉県」。ユニットバスまわり「滋賀県」「宮城県」「富山県」。外壁の張り替え・塗装「鹿児島県」「高知県」「千葉県」。サッシ・窓の交換「福岡県」「島根県」「和歌山県」。

## 専門家による解説・考察

- リフォームのプロ（写真左）：エディオン 営業本部 ELS統括部 商品部 吉田  
リフォーム商品のバイヤー、担当商品はキッチン・バス
- 県民性の専門家（写真右）：県民博士（リサーチプロデューサー）ディグラム・ラボ 木原 誠太郎さん  
心理学×統計学で人間の本質を分析し、カウンセリングする「ディグラム」をもとに、県民性を紐解く



### エディオン「第1回 全国リフォームトレンド調査」調査概要

- 実施時期：2025年11月13日（木）～11月18日（火） ■ 調査手法：インターネット調査
- 調査対象：直近5年間にリフォームを行った人男女20～70代 全国47都道府県各100サンプル 計4,700サンプル
- 調査委託先：株式会社マクロミル
- ★構成比（%）は小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

# 2025年 リフォームした場所 経年推移

## ■ 2021年から2025年のリフォーム推移

### 「外壁の張り替え・塗装」の順位が上昇、「サッシ・窓の交換」がスコアを上げている

家電とリフォームのエディオンでは、直近5年間にリフォームをした全国の4,700人を対象に、リフォームについての調査を行いました。

2025年にリフォームを行った1,165人にリフォームをした場所を聞くと、「トイレ」（40.5%）、「外壁の張り替え・塗装」（29.5%）、システムキッチンの交換やビルトイン食洗器の設置などの「キッチンまわり」（29.2%）、ユニットバス交換や浴室暖房乾燥機の設置などの「ユニットバスまわり」（24.3%）、「洗面所」（21.9%）の順になりました【図1】。

2021年からの推移を見ると、「外壁の張り替え・塗装」は年々順位を上げる傾向にあり、25年は2位に上昇しています。また、「サッシ・窓の交換」は22年は14.7%でしたが、23年15.4%、24年17.9%、25年は18.5%と年々スコアが高くなっています。

#### 2021年～2024年 リフォームTOP10（複数回答）

2021年（n=789）			2022年（n=1,059）			2023年（n=1,191）			2024年（n=1,187）		
1位	トイレ	54.1	1位	トイレ	52.4	1位	トイレ	50.7	1位	トイレ	46.4
2位	キッチンまわり	38.8	2位	キッチンまわり	33.5	2位	キッチンまわり	33.8	2位	キッチンまわり	32.7
3位	洗面所	34.7	3位	ユニットバスまわり	33.0	3位	外壁の張り替え・塗装	31.1	3位	外壁の張り替え・塗装	30.3
4位	ユニットバスまわり	33.8	4位	洗面所	31.8	4位	ユニットバスまわり	30.5	4位	洗面所	25.7
5位	外壁の張り替え・塗装	33.3	5位	外壁の張り替え・塗装	29.9	5位	洗面所	28.1	5位	ユニットバスまわり	25.0
6位	壁紙・クロスの張り替え	26.2	6位	壁紙・クロスの張り替え	23.9	6位	壁紙・クロスの張り替え	21.2	6位	壁紙・クロスの張り替え	22.3
7位	屋根の葺き替え・塗装	21.3	7位	屋根の葺き替え・塗装	19.7	7位	屋根の葺き替え・塗装	21.0	7位	屋根の葺き替え・塗装	18.9
8位	ドア・建具の交換	16.5	8位	玄関ドア・玄関まわり・勝手口の改修	16.2	8位	サッシ・窓の交換	15.4	8位	サッシ・窓の交換	17.9
9位	玄関ドア・玄関まわり・勝手口の改修	15.6	9位	電気給湯器（エコキュート）	15.3	9位	玄関ドア・玄関まわり・勝手口の改修	13.1	9位	玄関ドア・玄関まわり・勝手口の改修	14.1
10位	ガス給湯器	14.8	10位	サッシ・窓の交換	14.7	10位	電気給湯器（エコキュート）	12.4	10位	ドア・建具の交換	13.7
（%）			（%）			（%）			（%）		

【図1】 2025年に行ったリフォームTOP10（複数回答）

1位	トイレ	40.5	順位 上昇
2位	外壁の張り替え・塗装	29.5	
3位	キッチンまわり	29.2	
4位	ユニットバスまわり	24.3	スコア 上昇
5位	洗面所	21.9	
6位	壁紙・クロスの張り替え	21.5	
7位	屋根の葺き替え・塗装	20.2	スコア 上昇
8位	サッシ・窓の交換 (二重サッシ、断熱窓、内窓など)	18.5	
9位	玄関ドア・玄関まわり・勝手口の改修	12.6	
10位	ドア・建具の交換	11.8	
		2025年にリフォームした人（n=1,165）	（%）

#### <リフォームのプロ：エディオン 営業本部 ELS統括部 商品部 吉田による解説>

1位の「トイレ」は便器の機械部分の不具合による入れ替えの需要があり、毎年上位に上がるリフォーム工事です。

2位に急浮上した「外壁の張り替え・塗装」は一般に10～15年の周期で必要な工事です。コロナ禍によるステイホーム需要により室内のリフォームに取り組んできた方が、最後の仕上げのポイントとして外回りの改装を意識されたのかもしれません。3位の「キッチンまわり」はレンジフードや食洗器の耐用年数を機にしたリフォーム、4位の「ユニットバスまわり」は浴室乾燥機能付きタイプへの交換が好調です。

8位の「サッシ・窓の交換」はお客様から満足度の高い工事で、最新の高气密・高断熱の商品に交換するだけで効果が目に見えて実感でき「快適な室温が保たれると同時に光熱費を抑えられる」など反響の声をいただいています。



# 2025年 リフォームした理由 経年推移

## ■ リフォーム理由は「古くなった」だけじゃない？

### 昨今の気候変動や災害、物価高から家族も家計も“守るため”のリフォームが増加

全員にリフォームした理由を聞くと、「設備が古くなり故障したため」(67.4%)が高く、次いで「暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため」(18.7%)、「節電・省エネにより光熱費を抑えるため」(13.1%)が挙げられました【図2】。

2021年から各年ごとのリフォーム理由を見ると、「設備が古くなった」が1位ですが、2位「住まいの快適性を高めるため」は徐々にスコアが上がる傾向で、最近の異常気象から暮らしを守るリフォームが増えているようです。

3位「節電・省エネにより光熱費を抑える」は物価高から家計を守るため、4位「断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから」は家族の健康を守るためのリフォームと考えられそうです。

また、5位の推移を見ると、当初の「家族構成の変化に対応するため」から、「耐震性・安全性・防犯性を高めるため」に入れ替わっており、災害や犯罪から家族を守るためのリフォームが重視されるようになっていきます。

【図2】 直近5年間にリフォームした理由TOP10 (複数回答)

1位	設備が古くなり故障したため	67.4
2位	暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため	18.7
3位	節電・省エネにより光熱費を抑えるため	13.1
4位	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから	10.7
5位	耐震性・安全性・防犯性を高めるため	7.8
6位	(子どもの独立や高齢化など) 家族構成の変化に対応するため	7.7
7位	建て替えよりもコストを抑えて再生したかったため	7.2
8位	中古住宅を購入・相続したため、自分好みに整えたいから	6.7
9位	家の資産価値を維持・向上させるため	6.1
10位	家事の効率・タイムパフォーマンスを高めるため	5.9
		全体 (N=4,700) (%)

2021年～2025年 リフォーム理由TOP5 (複数回答)

2021年 (n=789)	2022年 (n=1,059)	2023年 (n=1,191)	2024年 (n=1,187)	2025年 (n=1,165)
1位 設備が古くなり故障したため (68.8%)	1位 設備が古くなり故障したため (69.0%)	1位 設備が古くなり故障したため (70.4%)	1位 設備が古くなり故障したため (69.8%)	1位 設備が古くなり故障したため (68.2%)
2位 暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を高めるため <b>18.0%</b>	2位 暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を高めるため <b>18.2%</b>	2位 暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を高めるため <b>20.7%</b>	2位 暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を高めるため <b>21.6%</b>	2位 暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を高めるため <b>21.2%</b>
3位 節電・省エネにより 光熱費を抑えるため (13.4%)	3位 節電・省エネにより 光熱費を抑えるため (13.7%)	3位 節電・省エネにより 光熱費を抑えるため (15.1%)	3位 節電・省エネにより 光熱費を抑えるため (14.8%)	3位 節電・省エネにより 光熱費を抑えるため (13.8%)
4位 断熱・換気・空気環境など 健康を意識した住まいにしたいから (11.2%)	4位 断熱・換気・空気環境など 健康を意識した住まいにしたいから (11.3%)	4位 断熱・換気・空気環境など 健康を意識した住まいにしたいから (11.3%)	4位 断熱・換気・空気環境など 健康を意識した住まいにしたいから (12.7%)	4位 断熱・換気・空気環境など 健康を意識した住まいにしたいから (11.2%)
5位 家族構成の変化に 対応するため (10.5%)	5位 家族構成の変化 に対応するため (9.3%)	5位 耐震性・安全性・ 防犯性を高めるため (8.6%)	5位 耐震性・安全性・ 防犯性を高めるため (7.8%)	5位 耐震性・安全性・ 防犯性を高めるため (7.6%)

#### <リフォームのプロ：エディオン 営業本部 ELS統括部 商品部 吉田による解説>

理由の2位に「暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため」があがっていますが、これは当社のお客様でも2020年のコロナ以降に継続して見られる傾向で、在宅時間を充実させることに価値を置き、リフォーム自体に関心を持つお客様が増えています。2位から5位までの理由に幅広くリンクしている商材が「内窓」で、快適性と同時に健康、省エネ、防犯に同時に寄与する利点が周知されるようになってきました。3位に「節電・省エネにより光熱費を抑えるため」という理由があがっていますが、当社でもスマートエネルギーを活用した省エネ住宅の設備提案がご好評をいただいています。「太陽光蓄電池」などを採用される例が多く、クリーンエネルギーでかつ家計防衛や災害時の備えとなる“守り”の意識の高まりを裏付けています。





# 2026年 リフォームしたい場所&リフォームしたい理由

## ■ 2026年にリフォームしたい場所、「キッチンまわり」が1位獲得

## ■ 急浮上した2位「壁紙・クロスの張り替え」、5位「サッシ・窓の交換」に注目

2026年に「リフォームしたい」と答えた2,335人にリフォームしたい場所を聞きました。

「キッチンまわり」（25.6％）が初の1位となり前年の3位から躍り出ました。

これまで6位が定位置の「壁紙・クロスの張り替え」（21.2％）は2位へ、「サッシ・窓の交換」（17.4％）は2025年8位から5位へと上昇しています【図3】。

2026年はキッチンまわりやクロスの張り替え、サッシ・窓のリフォームが注目されそうです。

【図3】 2026年に行いたいリフォームTOP10 （複数回答）

1位	キッチンまわり	25.6	(3位)
2位	壁紙・クロスの張り替え	21.2	(6位)
3位	ユニットバスまわり	20.0	(4位)
4位	外壁の張り替え・塗装	19.7	(2位)
5位	サッシ・窓の交換	17.4	(8位)
6位	トイレ	16.4	(1位)
7位	玄関ドア・玄関まわり・勝手口の改修	16.1	(9位)
8位	ドア・建具の交換	14.7	(10位)
9位	屋根の葺き替え・塗装	14.3	(7位)
10位	洗面所	11.6	(5位)

2026年にリフォームしたい人（n=2,335）（％） ○ 2025年順位

## ■ 「健康」「効率（タイパ）」が2026年のリフォームトレンドに

2026年にリフォームしたい理由が【図4】です。直近5年間にリフォームした理由からの順位の上昇を見ると、「断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから」（13.0％）が4位から3位に、「家事の効率・タイムパフォーマンスを高めるため」（6.0％）が10位から8位に上昇しています。効率的な時間の使い方として定着しつつある「タイパ」がリフォームにおいても注目され始めています。

これまでの「古くなったからする」に加えて、2026年は「健康」と「効率」がリフォームのキーワードになりそうです。

【図4】 2026年にリフォームしたい理由TOP10 （複数回答）

1位	設備が古くなったり故障したため	57.2	(1位)
2位	暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため	20.5	(2位)
3位	断熱・換気・空気環境など <b>健康を意識</b> した住まいにしたいから	13.0	(4位)
4位	節電・省エネにより光熱費を抑えるため	12.5	(3位)
5位	建て替えよりもコストを抑えて再生したいため	9.9	(7位)
6位	耐震性・安全性・防犯性を高めるため	9.7	(5位)
7位	家の資産価値を維持・向上させるため	6.9	(9位)
8位	家事の <b>効率・タイムパフォーマンス</b> を高めるため	6.0	(10位)
9位	モノを減らしてスッキリした空間にするため（整理・収納の見直し）	5.4	(ランク外)
10位	（子どもの独立や高齢化など）家族構成の変化に対応するため	5.3	(6位)

2026年にリフォームしたい人（n=2,335）（％） ○ 直近5年間順位

### <リフォームの専門家：エディオン 営業本部 ELS統括部 商品部 吉田による解説>

1位の「キッチンまわり」は、店頭でも近年大きな変化があり、商談の主体が女性からカップルになり、男性も熱心に参加する姿が見受けられます。それを反映してかキッチン什器も黒を基調とした商品が増えてきました。2位の「壁紙・クロスの張り替え」はリフォーム経験者からご注文を受けることが多く、他の場所を改装すると壁紙も気になり替えたいという傾向があるようです。

5位の「サッシ・窓の交換」は、比較的手軽な価格で一つの窓だけでも導入できる人気の工事です。断熱性や防音性などが目に見えて改善されることから、追加の工事を注文されるケースも多数あります。近年夏の暑さやヒートショックが健康課題になるなか、室温のバリアフリー化など「健康を意識した住まい」は建築業界が目指す課題です。健康チェックができるトイレも商品化されるなど、住居と健康の関りは今後も高まると考えられます。「家事の効率・タイムパフォーマンス」志向は売上にも表れており、ビルトイン型「食洗器」の取り換え需要が前年比125%の伸長を見せ、生活必需品の位置を獲得しつつあります。



# 夫婦間ギャップも 来年リフォームしたい場所&リフォームしたい理由

## ■ 2026年、リフォームしたいのは夫婦とも「キッチンまわり」

## ■ 女性の社会進出&家事シェアでキッチン男子が急増中！？



2026年にリフォームしたい場所を配偶者がいる男女で見ると、第1位は男女とも「キッチンまわり」（男性26.1%、女性24.9%）でした【図5】。

女性の社会進出が進み夫婦共働きが当たり前となり、男性も家事・育児に積極的に参加し、家事シェアする夫婦が一般化している令和。「男子厨房に入らず」と言われた頃とは大きく変わり、食事作りも当番制で、日常的にキッチンで過ごすキッチン男子も増えています。このような時代の変遷、意識の変化から、キッチンまわりの快適性が重視され、男女ともにリフォームしたいナンバーワンに選ばれたようです。

【図5】 2026年に行いたいリフォーム（複数回答）

	配偶者あり・男性 (n=1,393)		配偶者あり・女性 (n=414)	
1位	キッチンまわり	26.1	キッチンまわり	24.9
2位	壁紙・クロス張り替え	21.4	壁紙・クロス張り替え	23.2
3位	ユニットバスまわり	21.3	ユニットバスまわり	21.0
4位	外壁張り替え・塗装	20.5	外壁張り替え・塗装	20.5
5位	トイレ	16.7	サッシ・窓の交換	18.8
	(%)		(%)	

## ■ リフォーム理由から見る男女の意識差

### 「耐震性・安全性・防犯性を高めるため」にリフォームしたい女性、守る意識が高め

配偶者のいる男女でリフォーム理由に違いがあるのかを見ると、男女とも1位「設備が古くなったり故障したため」（男性57.9%、女性56.8%）、2位「暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため」（男性20.1%、女性19.8%）と同じですが、女性は「耐震性・安全性・防犯性を高めるため」（12.6%）が3位に入り、男性（7.7%）と比べ4.9ポイント高くなっています【図6】。地震が多い日本、女性の方が防災意識が高いようです。

【図6】 2026年のリフォーム理由（複数回答）

配偶者あり・男性 (n=1,393)			
1位	設備が古くなったり故障したため	57.9	
2位	暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため	20.1	
3位	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから	13.2	
4位	節電・省エネにより光熱費を抑えるため	12.4	
5位	建て替えよりもコストを抑えて再生したいため	9.6	
6位	耐震性・安全性・防犯性を高めるため	7.7	
7位	家の資産価値を維持・向上させるため	7.5	
8位	家事の効率を上げる・タイムパフォーマンスを高めるため	5.9	
9位	（子どもの独立や高齢化など）家族構成の変化に対応するため	5.2	
10位	モノを減らしてスッキリした空間にするため（整理・収納の見直し）	5.0	
	(%)		

配偶者あり・女性 (n=414)			
1位	設備が古くなったり故障したため	56.8	
2位	暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため	19.8	
3位	耐震性・安全性・防犯性を高めるため	12.6	
4位	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから	11.8	
5位	節電・省エネにより光熱費を抑えるため	10.9	
6位	建て替えよりもコストを抑えて再生したいため	8.5	
7位	家事の効率を上げる・タイムパフォーマンスを高めるため	7.0	
8位	モノを減らしてスッキリした空間にするため（整理・収納の見直し）	6.3	
同率 9位	（子どもの独立や高齢化など）家族構成の変化に対応するため	5.6	
同率 9位	中古住宅を購入・相続したため、自分好みに整えたいから	5.6	
	(%)		

対象は2026年にリフォームをしたい配偶者のいる男女（n=1,807）

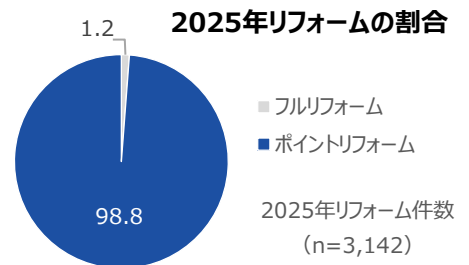
# フルリフォームとポイントリフォーム

## ■ リフォームの主流はポイントリフォーム

### 2025年のフルリフォームは全体の1.2%

リフォームには、大きな工事を伴うフルリフォームと、特定の箇所に絞った比較的手軽なポイントリフォームがあります。2025年にリフォームした1,165人のリフォーム件数は合計3,142件となり、そのうちスケルトンリフォームを含む「フルリフォーム」は38件と少なく、ポイントリフォームが主流となっています【図7】。

【図7】フルorポイント



## ■ 「不便なところだけ直したい」「費用を抑えたい」ときはポイントリフォーム 平均金額272.7万円

## ■ 「間取りを変えたい」「老朽化が進んでいる」ときはフルリフォーム 平均金額995.9万円

2025年にポイントリフォームを行った1,152人に、フルリフォームではなくポイントリフォームを選んだ理由を聞くと、「劣化や故障が目立つ場所や不便を感じる箇所だけを直したかった」（34.4%）、「フルリフォームするほどの老朽化ではなかった」（31.3%）、「今の家をできるだけ長く使いたい」（28.0%）、「生活に支障がある、必要な部分だけ直せば十分だと思った」（27.6%）、「費用を抑えたかった」（25.7%）が上位に挙げられました。ポイントリフォーム費用は直近5年間では平均272.7万円ですが、25年は165.2万円、26年は144.7万円（予算）と、物価高対策として家計に配慮する様子が見られます【図8】。

一方、直近5年間でフルリフォームをした188人の理由は、「間取りや構造を変えたかった」（39.9%）、「今後も今の家に長く住み続けたい」（34.6%）、「家の老朽化が進んでいた」（31.9%）が上位となり、平均金額は995.9万円でした【図9】。

【図8】ポイントリフォームを選んだ理由（複数回答）

1位	劣化や故障が目立つ場所や不便を感じる箇所だけを直したかった	34.4
2位	フルリフォームするほどの老朽化ではなかった	31.3
3位	今の家をできるだけ長く使いたい	28.0
4位	生活に支障がある、必要な部分だけ直せば十分だと思った	27.6
5位	費用を抑えたかった	25.7

2025年にポイントリフォームした人（n=1,152）※フルリフォームした人を含む（%）

【図9】フルリフォームを選んだ理由（複数回答）

1位	間取りや構造を変えたかった	39.9
2位	今後も今の家に長く住み続けたい	34.6
3位	家の老朽化が進んでいた	31.9
4位	家全体をまとめて新しくしたかった	26.6
5位	住まい全体のデザインを統一したかった	20.2

直近5年間にフルリフォームした人（n=188）※ポイントリフォームをした人を含む（%）

### ポイントリフォーム費用

2021年  
～2025年  
5年間

**272.7万円**

5年間にポイントリフォームした人  
(n=4,495)

2025年  
1年間

**165.2万円**

2025年にポイントリフォームした人  
(n=1,106)  
※フルリフォームした人を除く

2026年  
予算

**144.7万円**

2026年にポイントリフォームしたい人  
(n=2,235)

値下がり  
傾向

### フルリフォーム費用

2021年  
～2025年  
5年間

**995.9万円**

5年間にフルリフォームした人（n=47）  
※ポイントリフォームした人を除く

## <リフォームのプロ：エディオン 営業本部 ELS統括部 商品部 吉田による解説>

2020年のコロナ渦以来の物価高により、リフォームの費用は約20%ほど上昇し、お客様からは予算を抑えたいというご要望をいただいています。ポイントリフォームの平均金額（5年間）は272.7万円、2025年は165.2万円ですが、実際の商談では、100万円を超える規模になると費用を理由に悩まれることが多くなります。そのようなお客様をサポートするために、家電量販店ならではの豊富なお支払方法をご提案しており、長期のお支払いや低金利でのローンを活用していただいています。



# リフォームの依頼先

## ■ リフォームの依頼先、「工務店」「ハウスメーカー」に次いで「家電量販店」がランクイン

## ■ 「店舗が近くにあり、相談しやすい」家電量販店リフォームに注目

2021年～2025年の5年間に行ったリフォームの依頼先を全員に聞くと、「工務店・地元のリフォーム店」（61.1%）が最も多く、次いで「ハウスメーカー」（13.5%）、「家電量販店」（10.6%）の順となりました【図10】。

依頼先を選んだ理由を聞くと、いずれも「信頼できる／安心感があったから」が1番の理由となっていますが、工務店・地元のリフォーム店と家電量販店は2番目の理由として「費用が安かったから」が挙げられています。また、家電量販店は「店舗が近く相談しやすかったから」（24.8%）という理由で選んだ人も多くなっています。店舗数が多い家電量販店は、生活圏内の最寄りに店舗があることも人気の理由となっているようです【図11】。

リフォーム費用が縮小する中、費用が安くて信頼でき、距離的にも身近で便利な家電量販店でのリフォームが注目されそうです。

【図10】 実施したリフォームの依頼先（複数回答）

1位	工務店・地元のリフォーム店	61.1
2位	ハウスメーカー	13.5
3位	<b>家電量販店</b>	10.6
4位	建材・住宅設備メーカー直営店	9.0
5位	ホームセンター	6.1
全体（N=4,700）		（%）

【図11】 依頼先を選んだ理由（複数回答）

### ① 工務店・地元のリフォーム店を選んだ理由

1位	信頼できる 安心感があったから	56.7
2位	費用が安かったから	29.0
3位	担当者・スタッフの対応が 良かったから	28.0
4位	知人・家族の紹介だったから	21.4
5位	見積もりや説明が 分かりやすかったから	19.9
工務店・地元のリフォーム店を選んだ（n=2,871）		（%）

### ② ハウスメーカーを選んだ理由

1位	信頼できる 安心感があったから	70.2
2位	担当者・スタッフの対応が 良かったから	27.7
3位	アフターサービスが 充実していたから	27.2
4位	実績が多く安心できたから	22.4
5位	見積もりや説明が 分かりやすかったから	14.3
ハウスメーカーを選んだ（n=635）		（%）

### ③ 家電量販店を選んだ理由

1位	信頼できる 安心感があったから	43.0
2位	費用が安かったから	39.6
3位	担当者・スタッフの対応が 良かったから	31.0
4位	<b>店舗が近く 相談しやすかったから</b>	24.8
5位	見積もりや説明が 分かりやすかったから	22.8
家電量販店を選んだ（n=500）		（%）

## <リフォームのプロ：エディオン 営業本部 ELS統括部 商品部 吉田による解説>

リフォームの「依頼先を選んだ理由」の1位から3位までは、家電の購入先を選ぶ際の理由と同じで、お客様はリフォームも家電も同じような理由で依頼先を選んでいることが伺われます。実際、当社でリフォームをされるお客様のほとんどが「エディオンカード」の会員様で、家電購入で信頼を得ることから工事の発注へとつながっています。さらに、家電量販店の強みは、各メーカーの商品が一堂に会し、ショールームに行く手間を省きその場で比較検討が可能で、多様な工事に対応できることです。また、リフォームの重要なポイントは予算ですが、地域密着型店舗では普段から価格の相談をしやすく、親しみやすい存在である家電量販店の利用につながっていると推測できます。





# 調査結果から見てきた、今年＆来年のリフォームトレンド

## ■ 2025年のリフォームキーワードは“まもリフォーム”

2025年のリフォーム傾向を見ると、「外壁」「サッシ・窓」のリフォームが増えています。災害や異常気象など厳しい環境変化から、暮らしの快適さや家族の健康を守りたい、という意識が高まっているようです。リフォーム理由を聞くと、「住まいの快適性を高めるため」「健康を意識した住まいにしたいから」「耐震性・安全性・防犯性を高めるため」が挙げられ、守りたいという思いがリフォームというカタチとなっていることが読み取れます。

2025年のリフォームは、従来からの設備の老朽化や故障を直すリセットのためのリフォームに加え、大切なものを守るための積極的なリフォームが増えました。守るという付加価値のある“まもリフォーム”と呼べそうです。

## ■ 2026年のリフォーム予測 リフォーム「か」「き」「く」「け」「こ」

今回の調査結果から2026年のリフォームのトレンドも予想されます。1つ目は物価高に対応するための**家計**にやさしい・家計を守るためのリフォーム、2つ目は地球温暖化による**気候変動**に対応した快適な暮らしのためのリフォーム、3つ目は住まう人の**健康**を意識した住環境を整えるリフォーム、4つ目は顕在化はしていないもののこれからブレイクしそうな**効率化**のためのリフォームです。そして、2026年にリフォームする場所はキッチン男子増加に伴う**キッチン**と、リフォームの効果がわかりやすい**クロス**の張り替えです。

エディオンでは、これらの5項目を「リフォームのかきくけこ」としてご提案します。



### <リフォームのプロ：エディオン 営業本部 ELS統括部 商品部 吉田による解説>

今回の調査結果からわかるように、リフォームは設備の老朽化だけでなく、気候や家計などから暮らしを“守る”役割を持ち、快適性や健康、タイパの実現など多様な理由から工事が求められるようになりました。物価高ではあるものの、当社ではお客様の幅広いニーズに応えられるよう、家電量販店ならではの住まいに対する知見や利便性を活用し、リフォームをより身近にとらえていただけるようなプランをご提供してまいります。当社では、今後、リフォームと家電購入を組み合わせた割引サービスの導入を予定しており、家電製品と同様に、住まいにおいても「買って安心 ずっと満足」を実現してまいります。



# リフォーム全国ランキング 場所編

今回の調査は直近5年間にリフォームを行った人が対象ですが、各都道府県別に100人ずつ計4,700人を対象としています。調査結果からエリア別、都道府県別のランキングを発表します。

## ■トイレのリフォーム率が高い「石川県」「長野県」

## ■キッチン、ユニットバスまわり、洗面所と水回りにこだわりが強い「滋賀県」

直近5年間でリフォームした場所は「トイレ」（46.0%）、「キッチンまわり」（31.1%）、「外壁の張り替え・塗装」（29.2%）、「ユニットバスまわり」（27.9%）、「洗面所」（26.3%）の順ですが、都道府県別TOP10が〔図12〕です。

〔図12〕直近5年間リフォーム実施率 全国ランキングTOP10

トイレ			キッチンまわり			外壁の張り替え・塗装			ユニットバスまわり			洗面所		
同率 1位	石川県	59.0	1位	愛知県	48.0	1位	茨城県	39.0	1位	大阪府	40.0	1位	滋賀県	36.0
同率 1位	長野県	59.0	2位	滋賀県	41.0	同率 2位	徳島県	37.0	2位	滋賀県	37.0	2位	大阪府	34.0
3位	岡山県	56.0	同率 3位	奈良県	40.0	同率 2位	沖縄県	37.0	同率 3位	鹿児島県	35.0	同率 3位	香川県	33.0
同率 4位	奈良県	55.0	同率 3位	新潟県	40.0	同率 2位	富山県	37.0	同率 3位	高知県	35.0	同率 3位	北海道	33.0
同率 4位	香川県	55.0	5位	山口県	39.0	同率 5位	愛媛県	36.0	5位	岡山県	34.0	同率 5位	鹿児島県	31.0
6位	島根県	54.0	6位	長野県	38.0	同率 5位	静岡県	36.0	同率 6位	香川県	33.0	同率 5位	石川県	31.0
7位	群馬県	52.0	同率 7位	群馬県	37.0	同率 7位	宮崎県	35.0	同率 6位	青森県	33.0	同率 5位	大分県	31.0
同率 8位	東京都	51.0	同率 7位	徳島県	37.0	同率 7位	長崎県	35.0	同率 6位	宮城県	33.0	8位	広島県	30.0
同率 8位	大阪府	51.0	同率 9位	島根県、高知県	35.0	同率 9位	群馬県	34.0	同率 6位	兵庫県	33.0	同率 9位	岡山県	29.0
同率 10位	千葉県、愛知県 山口県、熊本県	50.0	同率 9位	兵庫県、北海道	35.0	同率 9位	秋田県	34.0	同率 6位	山形県	33.0	同率 9位	兵庫県、神奈川県	29.0
(%)			(%)			(%)			(%)			(%)		
各都道府県n=100ずつ														

### ＜県民博士（リサーチプロデューサー）木原誠太郎さんによる考察＞

#### リフォーム場所ランキングに見る県民性との関係

リフォームに多い水回りから県民性が見て取れます。**岡山県**は川が多く、水害経験から住環境への意識も高いことから、水回りのリフォーム率の高さにつながっています。豪雪・湿気・地震など自然条件が厳しい**石川県**は、慎重で堅実な安全志向タイプが多く、地震経験もあり「お金がかかっても今後の安心・安全を優先して設備を更新する」という心理が強く出ています。堅実で計画的、家族思いな**滋賀県**民は水まわりのリフォームの上位県。持ち家・戸建て比率が高く長く住むマイホーム志向が強いいため、長期的目線で水まわりに投資する人が多く見られます。琵琶湖があることで「水」に敏感で、「長く住む家だからこそ、水まわりから賢く整える」堅実でロジカルな県民性が反映されているようです。

また、ランキングからは「暮らしの動線」+「食文化」+「地形・気候」の傾向も読み取れます。キッチンまわりは**滋賀県**、**奈良県**、**新潟県**、**愛知県**など家族の“司令塔”を重視する県が上位、これらの県は自宅で家族と食事をする回数が多く、「家の食卓」を大事にします。例えば、愛知県は味噌文化・喫茶文化など“食”に対するこだわりが強く、新潟県は米どころで日本海の魚介・地酒など「家でおいしいものを食べる幸福感」が大きい。県民性から見ると、家事動線・収納効率を徹底的に最適化したいという論理性と、家族の健康を食から守りたいやさしさタイプが多く、「キッチンを家族の司令塔としてアップデートしたい」と望まれるようです。

ユニットバスまわりは**滋賀県**の他**大阪府**、**高知県**、**鹿児島県**が上位で、これらの府県は夏の暑さや湿気が強く、台風や豪雨が多く激しい気候。なので古くから温泉・お風呂文化、癒やし文化が根付き、「一日の疲れを癒やすバスタイムこそ自分や家族へのご褒美」と考える人が多いようです。

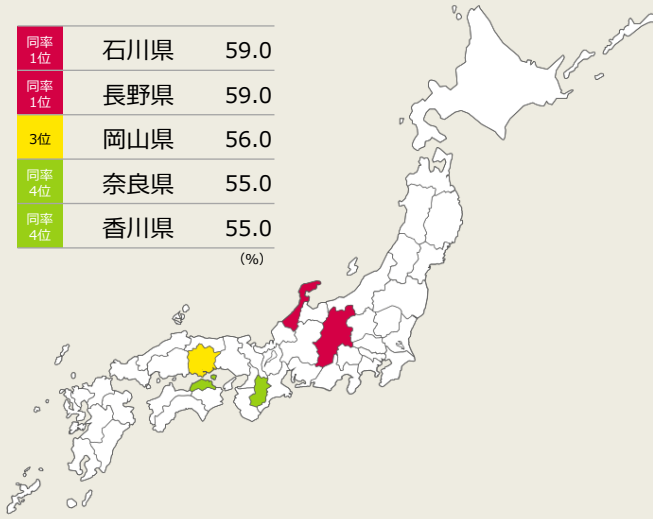
洗面所は地域における寒暖差、朝のタイパや美容意識が出る場所です。寒さが厳しい**北海道**は洗面所の断熱・暖房が健康に直結。**香川県**は美容・身だしなみ意識が高く、「朝の支度環境」を重視する人が多く見られます。両県ともタイパ重視が多く、「朝の準備をいかに快適・効率的にするか」「鏡の前に立ったときの気分を上げるか」が重要とされ、洗面所のリフォームを重視していると考えられます。



# リフォーム全国ランキング 場所編

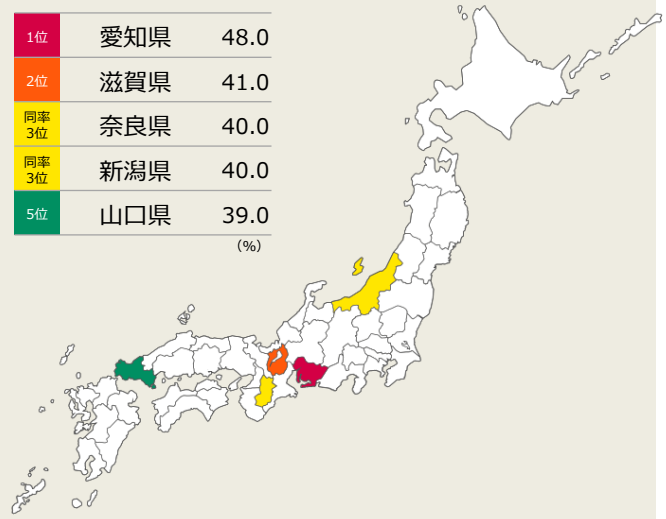
## トイレのリフォーム率が高い都道府県

同率 1位	石川県	59.0
同率 1位	長野県	59.0
3位	岡山県	56.0
同率 4位	奈良県	55.0
同率 4位	香川県	55.0



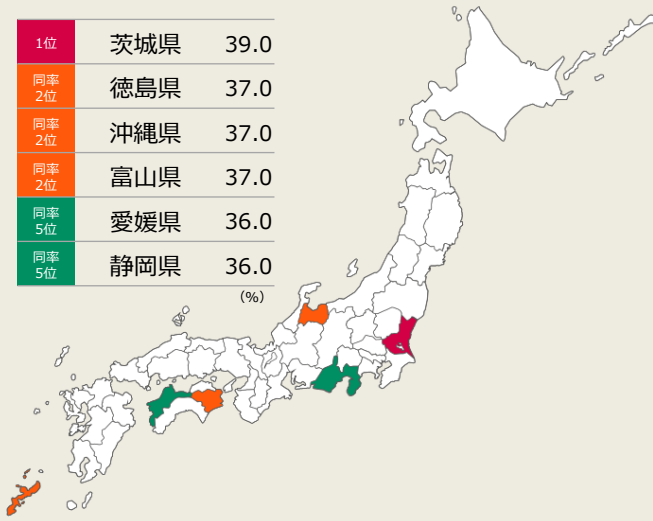
## キッチンまわりのリフォーム率が高い都道府県

1位	愛知県	48.0
2位	滋賀県	41.0
同率 3位	奈良県	40.0
同率 3位	新潟県	40.0
5位	山口県	39.0



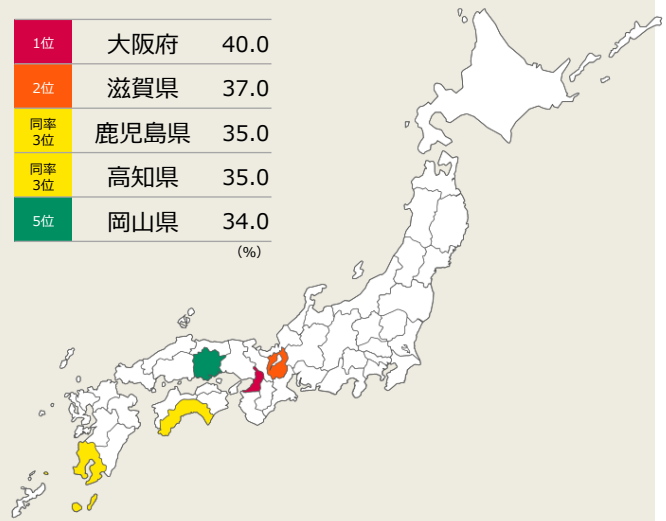
## 外壁の張り替え・塗装のリフォーム率が高い都道府県

1位	茨城県	39.0
同率 2位	徳島県	37.0
同率 2位	沖縄県	37.0
同率 2位	富山県	37.0
同率 5位	愛媛県	36.0
同率 5位	静岡県	36.0



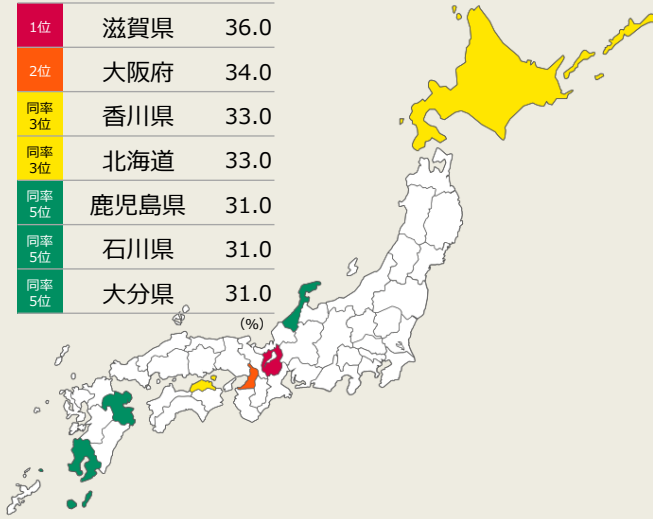
## ユニットバスまわりのリフォーム率が高い都道府県

1位	大阪府	40.0
2位	滋賀県	37.0
同率 3位	鹿児島県	35.0
同率 3位	高知県	35.0
5位	岡山県	34.0



## 洗面所のリフォーム率が高い都道府県

1位	滋賀県	36.0
2位	大阪府	34.0
同率 3位	香川県	33.0
同率 3位	北海道	33.0
同率 5位	鹿児島県	31.0
同率 5位	石川県	31.0
同率 5位	大分県	31.0



- 1位 (赤)
- 2位 (オレンジ)
- 3位 (黄)
- 4位 (黄緑)
- 5位 (緑)

対象者は各都道府県n=100ずつ

# リフォーム全国ランキング 理由編

## ■ 古くなってリフォームする「三重県」「兵庫県」

## ■ 住まいの快適性のためにリフォームする「岡山県」「山形県」「長野県」

2021年～2025年の5年間にリフォームした理由（図2参照）別に都道府県をランキングすると、「設備が古くなったり故障したため」（全国平均67.4%）にリフォームした人が多いのは、「三重県」「兵庫県」（同率76.0%）、「青森県」（75.0%）。「暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため」（全国平均18.7%）は、「岡山県」（29.0%）、「山形県」「長野県」（同率26.0%）、「節電・省エネにより光熱費を抑えるため」（全国平均13.1%）は、「島根県」「岡山県」「熊本県」（同率21.0%）に多くなっています。「断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから」（全国平均10.7%）は、「新潟県」（20.0%）、「富山県」「奈良県」（同率17.0%）、「耐震性・安全性・防犯性を高めるため」（全国平均7.8%）は、「福井県」（12.0%）、「群馬県」「富山県」「石川県」「大阪府」（同率11.0%）に多くなっています〔図13〕。

【図13】リフォーム理由別実施率 全国ランキングTOP10

設備が古くなったり故障したため			暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を高めるため			節電・省エネにより 光熱費を抑えるため		
同率1位	三重県	76.0	1位	岡山県	29.0	同率1位	島根県	21.0
同率1位	兵庫県	76.0	同率2位	山形県	26.0	同率1位	岡山県	21.0
3位	青森県	75.0	同率2位	長野県	26.0	同率1位	熊本県	21.0
同率4位	京都府	74.0	同率4位	新潟県	25.0	4位	愛媛県	19.0
同率4位	和歌山県	74.0	同率4位	岐阜県	25.0	同率5位	北海道	18.0
同率6位	群馬県	73.0	同率4位	兵庫県	25.0	同率5位	福井県	18.0
同率6位	島根県	73.0	同率7位	岩手県	24.0	同率7位	栃木県	17.0
同率6位	愛媛県	73.0	同率7位	富山県	24.0	同率7位	石川県	17.0
同率6位	大分県	73.0	同率7位	島根県	24.0	同率7位	奈良県	17.0
10位	千葉県、長野県	72.0	10位	群馬県	23.0	同率7位	鳥取県	17.0
全国平均	67.4		全国平均	18.7		全国平均	13.1	
(%)			(%)			(%)		
断熱・換気・空気環境など 健康を意識した住まいにしたいから			耐震性・安全性・防犯性 を高めるため					
1位	新潟県	20.0	1位	福井県	12.0			
同率2位	富山県	17.0	同率2位	群馬県	11.0			
同率2位	奈良県	17.0	同率2位	富山県	11.0			
同率4位	岐阜県	15.0	同率2位	石川県	11.0			
同率4位	大阪府	15.0	同率2位	大阪府	11.0			
同率6位	山形県	14.0	同率6位	岩手県、宮城県	10.0			
同率6位	千葉県	14.0	同率6位	山形県、福島県	10.0			
同率6位	山梨県	14.0	同率6位	神奈川県	10.0			
同率6位	愛知県	14.0	同率6位	静岡県、奈良県	10.0			
同率6位	鳥取県	14.0	同率6位	高知県、熊本県	10.0			
全国平均	10.7		全国平均	7.8				
(%)			(%)					

各都道府県n=100ずつ



# リフォーム全国ランキング 費用編

## ■ 5年間のポイントリフォーム費用TOP3 「富山県」「福岡県」「長野県」

直近5年間のリフォーム費用を都道府県別に見ると、ポイントリフォームは「富山県」（378.6万円）、「福岡県」（341.6万円）の順、2025年の1年間のポイントリフォームは「奈良県」（351.3万円）、「福岡県」（248.1万円）、「神奈川県」（246.4万円）の順、2026年のポイントリフォーム予算は「広島県」（193.4万円）、「石川県」（193.3万円）、「富山県」（192.2万円）の順でした〔図14〕。

【図14】リフォーム費用 全国ランキング

5年間のポイントリフォーム費用		
1位	富山県	378.6
2位	福岡県	341.6
3位	長野県	333.4
4位	福島県	327.3
5位	大阪府	326.8
6位	福井県	322.7
7位	島根県	320.8
8位	山梨県	312.6
9位	佐賀県	311.4
10位	群馬県	310.8
全国平均		272.7

5年間でポイントリフォームした人（n=4,495）（万円）

2025年 ポイントリフォーム費用		
1位	奈良県	351.3
2位	福岡県	248.1
3位	神奈川県	246.4
4位	広島県	235.2
5位	山形県	234.0
6位	茨城県	231.0
7位	大阪府	220.7
8位	埼玉県	219.1
9位	高知県	213.4
同額9位	福島県	210.0
全国平均		165.2

2025年にポイントリフォームした人（n=1,106）  
※フルリフォームした人を除く（万円）

2026年 ポイントリフォーム予算		
1位	広島県	193.4
2位	石川県	193.3
3位	富山県	192.2
4位	愛知県	183.9
5位	宮城県	179.8
6位	福井県	176.4
7位	福島県	169.6
8位	茨城県	168.4
9位	埼玉県	167.3
同額9位	千葉県	167.3
全国平均		144.7

2026年にポイントリフォームしたい人（n=2,235）（万円）

## 住まいに対する文化の違いとリフォーム費用

県民博士（リサーチプロデューサー）木原誠太郎さんによる考察

豪雪など自然条件が厳しい**富山県、福井県、石川県**は、持ち家率が高く、壊れたら住み替えるより「しっかり直して長く住む」文化が根付いています。モノを大切に手入れを怠らず、さらに耐震・断熱・メンテナンスにかかるコストを冷静に比較して判断する“守りの投資家”が多い。これらの傾向から、「命と資産を守るための必要投資にしっかりお金をかける」ことにつながり、リフォーム費用にコストをかけるのでしょう。

石川県・富山県は地震の影響も大きく、構造・外装の強化や設備更新に前向きな意欲が高まっているようです。

**福岡県**は九州の中核都市で所得水準も高く、台風や豪雨リスクもある地域です。家族にやさしく明るい県民性で、「家族の暮らしを守るために家をアップデートする」という前向き投資が出やすい傾向があります。

同じく豪雨・土砂災害リスクが高い**広島県**は、ここ数年の災害経験から「構造・外まわりの強化」にお金をかけたいという意識が高く、予算上位にランクインしていると考えられます。



# リフォーム全国ランキング 2026年リフォームしたい場所編

## ■ 2026年、キッチンまわりをリフォームしたい「和歌山県」「大分県」「愛媛県」

## ■ 壁紙・クロスの張り替えをしたい「福岡県」「奈良県」「千葉県」

2026年にリフォームしたい場所（図3参照）別に都道府県をランキングすると、「キッチンまわり」（全国平均25.6％）をリフォームしたい人は「和歌山県」（38.6％）、「大分県」（36.4％）、「愛媛県」（35.4％）に多く、「壁紙・クロスの張り替え」（全国平均21.2％）は、「福岡県」（36.5％）、「奈良県」（32.1％）「千葉県」（30.8％）の順、「ユニットバスまわり」（全国平均20.0％）は、「滋賀県」（30.6％）、「宮城県」（29.8％）、「富山県」（29.5％）に多くなっています。

「外壁の張り替え・塗装」（全国平均19.7％）は、「鹿児島県」（36.0％）、「高知県」（34.8％）、「千葉県」（28.2％）の順に、二重サッシ、断熱窓、内窓など「サッシ・窓の交換」（全国平均17.4％）は、「福岡県」（30.8％）、「島根県」（28.8％）、「和歌山県」（27.3％）の順となりました〔図15〕。

〔図15〕 2026年リフォームしたい場所別 全国ランキングTOP10

キッチンまわり			壁紙・クロスの張り替え			ユニットバスまわり		
1位	和歌山県	38.6	1位	福岡県	36.5	1位	滋賀県	30.6
2位	大分県	36.4	2位	奈良県	32.1	2位	宮城県	29.8
3位	愛媛県	35.4	3位	千葉県	30.8	3位	富山県	29.5
4位	高知県	34.8	4位	広島県	29.8	4位	福岡県	28.8
5位	広島県	34.0	5位	熊本県	28.6	5位	山口県	28.3
6位	栃木県	33.9	6位	沖縄県	28.0	6位	奈良県	26.8
7位	三重県	31.0	7位	鳥取県	27.7	7位	沖縄県	26.0
8位	山形県	30.9	8位	新潟県	27.3	同率8位	岩手県	25.9
同率9位	千葉県	30.8	9位	長崎県	27.1	同率8位	神奈川県	25.9
同率9位	大阪府、福岡県	30.8	10位	埼玉県、福井県、静岡県	25.0	同率8位	宮崎県	25.9
全国平均	25.6		全国平均	21.2		全国平均	20.0	
		(%)			(%)			(%)

外壁の張り替え・塗装			サッシ・窓の交換		
1位	鹿児島県	36.0	1位	福岡県	30.8
2位	高知県	34.8	2位	島根県	28.8
3位	千葉県	28.2	3位	和歌山県	27.3
4位	茨城県	27.5	4位	長崎県	27.1
同率5位	愛媛県	27.1	5位	静岡県	25.0
同率5位	長崎県	27.1	6位	熊本県	23.2
同率7位	石川県	25.0	同率7位	秋田県	23.1
同率7位	島根県	25.0	同率7位	長野県	23.1
同率7位	佐賀県	25.0	9位	香川県	22.4
10位	青森県	24.6	10位	新潟県	21.8
全国平均	19.7		全国平均	17.4	
		(%)			(%)

対象は2026年にリフォームしたい人（n=2,335）

# リフォーム全国ランキング 2026年リフォーム理由編

## ■ 2026年のリフォーム理由から県民性が見え隠れ…

2026年にリフォームしたい理由別に上位県を見たのが〔図16〕です。

ここから県民性を導くと、熊本県民は耐震性や防犯性も考慮しつつスッキリした空間づくりで住まいの快適性を高め、健康増進と同時に省エネやコスト意識も高いしっかりさん。香川県民は老朽化がきっかけのリフォームでも、住まいの快適性を高めたいアップサイクリスト、そんな側面が見えてきました。

〔図16〕 2026年リフォーム理由別、都道府県ランキングTOP5

1位 設備が古くなったり故障したため			2位 暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため			3位 断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから		
1位	新潟県	69.1	1位	熊本県	35.7	1位	鳥取県	25.5
2位	群馬県	68.6	2位	富山県	31.8	同率2位	岡山県	25.0
3位	香川県	67.3	3位	香川県	30.6	同率2位	熊本県	25.0
4位	茨城県	66.7	4位	福島県	29.4	4位	福島県	21.6
5位	大分県	65.9	5位	宮崎県	27.8	5位	島根県	21.2
全国平均		57.2	全国平均		20.5	全国平均		13.0
		(%)			(%)			(%)
4位 節電・省エネにより光熱費を抑えるため			5位 建て替えよりもコストを抑えて再生したいため			6位 耐震性・安全性・防犯性を高めるため		
1位	熊本県	23.2	同率1位	熊本県	17.9	1位	宮城県	19.1
2位	島根県	21.2	同率1位	愛知県	17.9	2位	静岡県	18.8
同率3位	東京都	19.6	3位	青森県	17.5	同率3位	岩手県	16.7
同率3位	奈良県	19.6	同率4位	愛媛県	16.7	同率3位	愛媛県	16.7
同率3位	福島県	19.6	同率4位	石川県／三重県	16.7	5位	熊本県	16.1
全国平均		12.5	全国平均		9.9	全国平均		9.7
		(%)			(%)			(%)
7位 家の資産価値を維持・向上させるため			8位 家事の効率を上げるためタイムパフォーマンスを高めるため			9位 モノを減らしてスッキリした空間にするため		
1位	大阪府	17.9	1位	三重県	11.9	1位	熊本県	19.6
2位	兵庫県	14.3	2位	福岡県	11.5	2位	滋賀県	12.2
3位	沖縄県	14.0	3位	岡山県	11.4	3位	山口県	10.9
4位	富山県	13.6	4位	宮崎県	11.1	4位	群馬県	9.8
5位	山梨県	13.0	5位	東京都	10.7	5位	佐賀県	9.6
全国平均		6.9	全国平均		6.0	全国平均		5.4
		(%)			(%)			(%)

## リフォーム理由と県民性 県民博士（リサーチプロデューサー）木原誠太郎さんによる考察

同じ“古くなった家”でも、県民性によって“どう良くするか”の方向性が違うことが、わかりやすく示される結果となりました。

**熊本県**民は、きっちりして論理性があり家族思いで、バランスの良いタイプが多く、地震・豪雨を経験しているので、住まいへの意識が高いといふことから、モノを減らして掃除しやすく、冷暖房効率も上げる“スッキリ快適リフォーム”に向かいやすいと考えられます。



面積が小さい**香川県**は、都市機能がコンパクトにまとまり生活しやすい環境が魅力です。県民性は自由さと論理性が高く、リフォームも壊れたから直すだけでなく、壊れたから「より良く・楽しく変える」発想力が高い。老朽化をチャンスに変える“アップサイクリスト”がピッタリですね。

## ■ 持ち家率が高い地域は、「家を継ぐ」「家としっかり向き合う」リフォームを重視

全国ランキング全体を見ると、家に対する「距離感」と「役割の捉え方」の違いがはっきり出ています。

北陸・東北内陸・山間部・中部内陸は真面目・忠実タイプが多いエリアです。持ち家率も高く、家を「消費物」ではなく「守るべき資産・継ぐべき場所」と捉えており、リフォーム意欲も金額も高めで、家としっかり向き合う傾向があります。

また、親から子へ「家を継ぐ」文化があり、「自分の代で家を傷ませるわけにはいかない」という責任感もあります。豪雪・台風・豪雨・地震など自然条件が厳しく、家の性能が生活に直結し、手を抜くと痛い目を見る経験も語り継がれています。資産としての「家」だけでなく、このような経験も受け継がれていることから、“必要なところにはちゃんと投資する”傾向が強く、定期的なメンテナンスや計画的なリフォームに前向きです。

## ■ 賃貸率が高い都心部は、ライフスタイルに合わせたアップデートのためのリフォーム

一方、大都市や賃貸率が高い地域は、飲食・娯楽・仕事は外で完結できることから、家を「住み替え前提の暫定的な場所」と見る傾向があり、「住み替えによる最適化」に意識が向きがちです。転勤・転居が前提のキャリアパスで、家は寝る・着替えるための拠点という側面が強く、住まいは長く暮らすというよりも、家具・家電の入れ替えや住み替えで対応する傾向があります。

環境に合わせて住まいを変える派が多い都心部では、資産価値とライフスタイルの変化への対応がリフォームの重視点になります。例えば東京都では、マンション・一戸建てともに「資産価値の維持・向上」を意識する層が多く、在宅ワークや共働き、DINKSなど多様なライフスタイルに合わせた“間取り・設備のアップデート型”のリフォームが多くなっています。

### リフォーム意向の高いエリアの傾向

#### ● 城下町・門前町文化が強い

城下町・門前町を中心に発展した地域は、「家並みを整える」「軒先をきれいにする」文化が色濃く、リフォーム意識も高い。

#### ● 親子同居・地元就職が多い

子どもが県外に出にくい地域では三世代で同じ家に住むケースも多く、世代交代のタイミングでリフォームする文化が根付いている。

### リフォーム意向の低いエリアの傾向

#### ● 高度成長期に急速に都市化した

タワマン・分譲マンションが多く、住み替えも一般的。中古で売る・貸すが前提で、個人での大規模リフォームに踏み切りにくい。

#### ● 単身・共働きDINKS比率が高い

長期の家族単位の住居ではなく、一定期間の“ライフステージごとの住居”として家を捉えがち。大きなリフォームより、便利家電・家具・インテリアで調整する傾向に。

## ■ 家電量販店の強みを生かしたリフォームとは…

今回の調査ではリフォームの依頼先として家電量販店が3位でした。家電量販店には「家電＋リフォーム＋地域データ」を一元管理できる強みがあります。例えば、性格やエリアを入力すると、「あなたの性格とエリアなら、この3か所のリフォームがオススメ」と診断、それに基づいたリフォーム計画を提示してくれるといったシステムの提供も、家電量販店なら実現できそうですね。

また、リフォーム理由で「家事の効率を上げるため」が伸びていますが、タイパ意識は全国的なトレンドです。例えば、キッチンなら食洗機＋IH＋収納改善をセットにした「キッチンタイパパック」、浴室乾燥機＋ランドリースペース＋収納をセットにした「洗面・浴室タイパパック」というような提案も可能になるかもしれません。



### 県民博士（リサーチプロデューサー）木原 誠太郎（きはら せいitarou）さん プロフィール

電通やミクシィでマーケティングを担当し、様々な企業のコンサルティングに関わる。

2013年「ディグラム・ラボ」を設立。現在は、心理学×統計学で人間の本质を分析し、カウンセリングする「ディグラム」の研究を進める。京都芸術大学客員教授。最新著書は『新ディグラム性格診断 9タイプが解き明かすあなたの真実』（プレジデント社）。

「スター★性格診断SHOW」（TBS系）、「ホンマでっか!?TV」（フジテレビ系列）、「オイコノミア」（NHK）、「有吉ゼミ」（日本テレビ系列）、「かまいたちの机上の空論城」（関西テレビ）などテレビ出演多数。

●ディグラム・ラボ <https://digram-shindan.com>



# エディオンのリフォーム事業について

エディオンでは、2009年からリフォームやオール電化、太陽光発電システム等を本格展開しております。中でもリフォームは、家電に次ぐ第2の柱として取り組みを強化しています。設備・機器を交換する「ぶちdeリフォーム」や、キッチン・バス・トイレの内装を含めたリフォームを分かりやすいパック料金でご提案する「パックdeリフォーム」、外壁屋根塗装、窓、ドアなどお家まわりをご提案する「おうちdeリフォーム」などを販売しております。



## ■主な取り扱い商品



キッチン



バス



トイレ



洗面化粧台



外壁・屋根



太陽光発電システム

## ■エディオンのリフォームの3つの特長

### 1. 豊富な年間実績

リフォーム・太陽光発電・オール電化の累計施工実績120万件以上の安心と信頼。

※2014年4月から2025年3月までの太陽光発電システム、エコキュート、IHクッキングヒーター、リフォームのエディオングループ工事実績。

### 2. パック料金による価格の明瞭化

パック料金化は、「工事にいくらかかるか分からない」などの不安要素を払拭し、リフォーム販売をパッケージ化（商品と付帯工事の基本仕様および価格をあらかじめすべて設定）して、お客様にとってより購入しやすくしたものです。その結果、家電量販店で唯一、経済産業省主催の「先進的なリフォーム事業者表彰」を受賞しました。

### 3. 10年あんしんサポート

#### ・リフォーム「商品修理」「工事補修」

毎日、長く使うものだから、安心してお使いいただきたい。リフォーム商品修理・工事補修保証によりお客様の大切な商品を10年間サポートします。

#### ・「屋内水まわり」「玄関カギ」緊急駆け付けサービス

電話対応だけでなく、「迅速・丁寧・安心」をモットーに水まわりや玄関のカギトラブルの際に専門のスタッフが直接ご自宅までおかがいし、応急処置対応いたします。

#### ・「24時間」「365日」リフォームコールセンター受付

24時間・365日コールセンターの専門スタッフがしっかりと丁寧に対応いたします。

## リフォーム研修

リフォーム、オール電化、太陽光発電システム等の取り扱いには専門知識と高度な技術が必要です。リフォームから省エネ・節電関連まで幅広くお客様にご提案できるように、リフォーム・エコキュート・太陽光発電システムなどの研修センターを全国4箇所に設置し、工事担当者への効率的・効果的な技術研修だけでなく、営業担当者も含めた「販・工」一体の教育・研修を実施しております。



リフォーム・太陽光発電・オール電化の  
受注件数、ますます増進!

累計施工実績  
**120**万件以上  
※2014年4月～2025年3月までの  
太陽光発電システム、エコキュート、IHクッキングヒーター、  
リフォームのエディオングループ工事実績。

先進的な  
リフォーム事業者表彰  
経済産業省主催  
先進的な  
リフォーム事業者表彰  
エディオンは選ばれました!!  
家電小売業界で唯一!!  
※経済産業省主催による平成26年度「先進的なリフォーム事業者表彰」選出。

10年  
商品・工事保証

水まわり・カギ  
緊急駆け付けサービス

24時間  
365日  
故障・水トラブル受付